

2022年12月期（第44期）
第2四半期決算説明資料

⑦ 株式会社 小田原エンジニアリング
2022年8月12日



ODAWARA ENGINEERING CO., LTD.

○経済の動向

《我が国の経済》

- ・ 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種の普及が進んだ
- ・ 行動制限緩和等を背景に、経済社会活動の正常化が進む中で持ち直しの動きがみられた
- ・ ウクライナ情勢の長期化、中国における経済活動抑制の影響等が懸念された
- ・ 原材料価格や燃料価格の上昇・高止まり、供給制約、金融資本市場の変動等による下振れリスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いている

《世界経済》

- ・ 中国…一部地方で厳しい防疫措置や都市封鎖、国内消費や生産が大きく減少し持ち直しの動きに足踏み
- ・ 米国…景気は持ち直している
- ・ 欧州…一部で厳しい状況が残る中で持ち直している

○当社グループを取り巻く環境

«主要顧客である自動車産業の動向»

- ・世界的な電動車へのシフトが進む
- ・モーター巻線機の需要は引き続き拡大することが期待されている

(懸念点)

- ・半導体を中心とする原材料・部品不足
 - ・中国における一部地方での都市封鎖による国際物流の停滞
 - ・ウクライナ情勢の影響等によるサプライチェーンの混乱
 - ・一部の自動車メーカーでは減産や工場の稼働停止が実施
- ▶今後も不安定な状況が続くことが予想される

○連結業績概要

《営業成績》

(単位：百万円)

指標	実績	前年 同四半期比	増減要因
売 上 高	5,123	16.2%減	➤ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限配慮、事業への影響を最小限にすることに努めた ➤ 巻線機事業において上期に売上を予定していた、いくつかの海外向け大型案件の現地での引き渡しが完了せず、第3四半期以降にずれ込む
営 業 利 益	323	2.5%減	
経 常 利 益	436	5.3%増	➤ 連結子会社において外貨建債権債務から生じた為替差益を計上
親会社株主に 帰 属 する 四半期純利益	327	14.8%増	

○連結セグメント業績概要

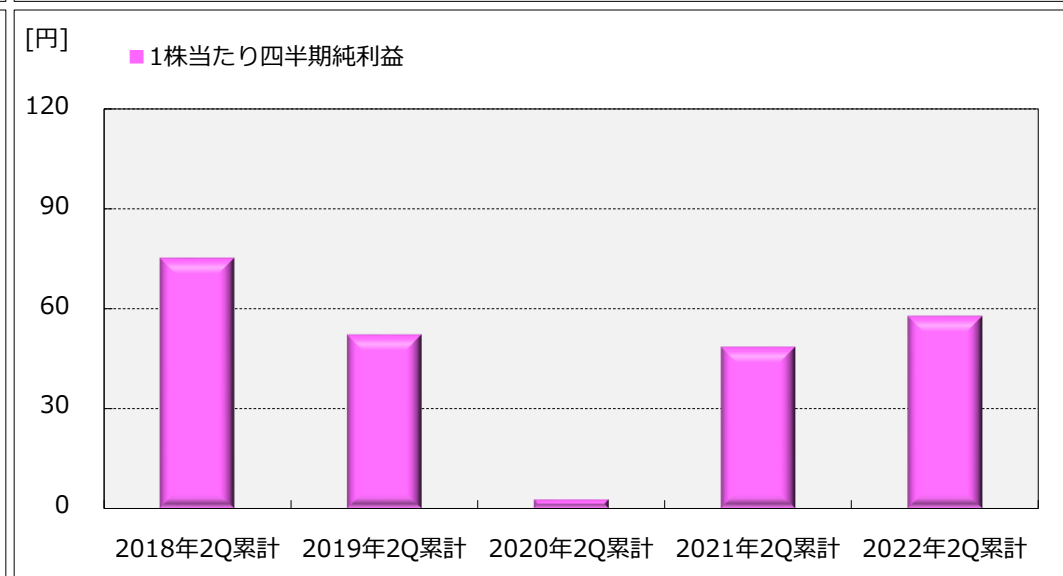
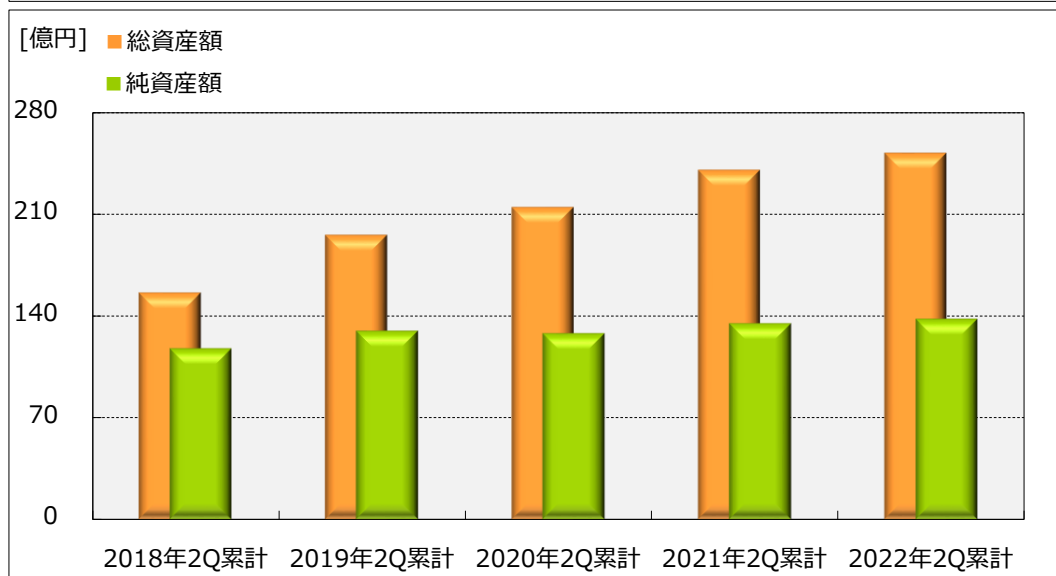
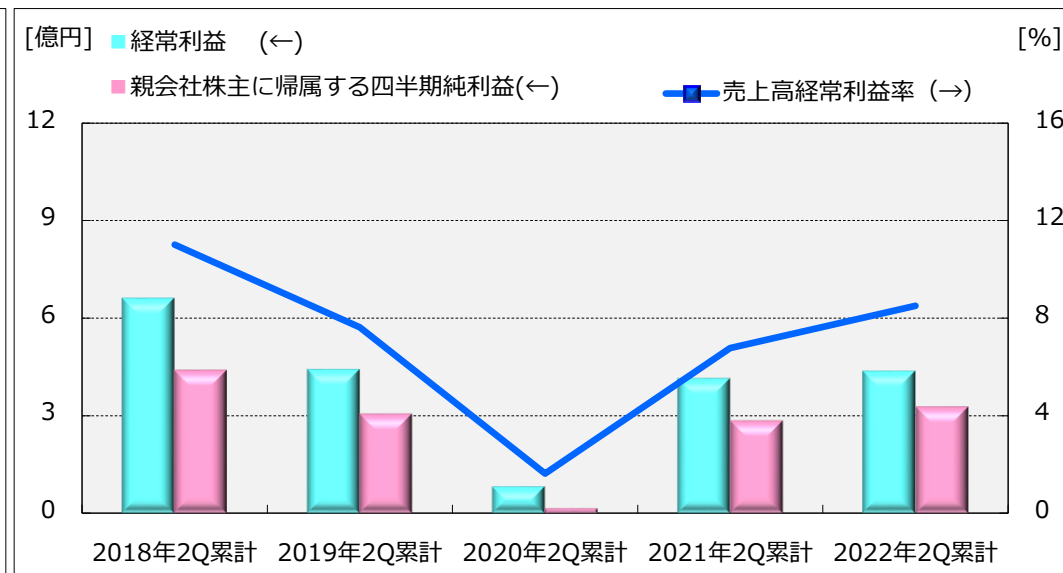
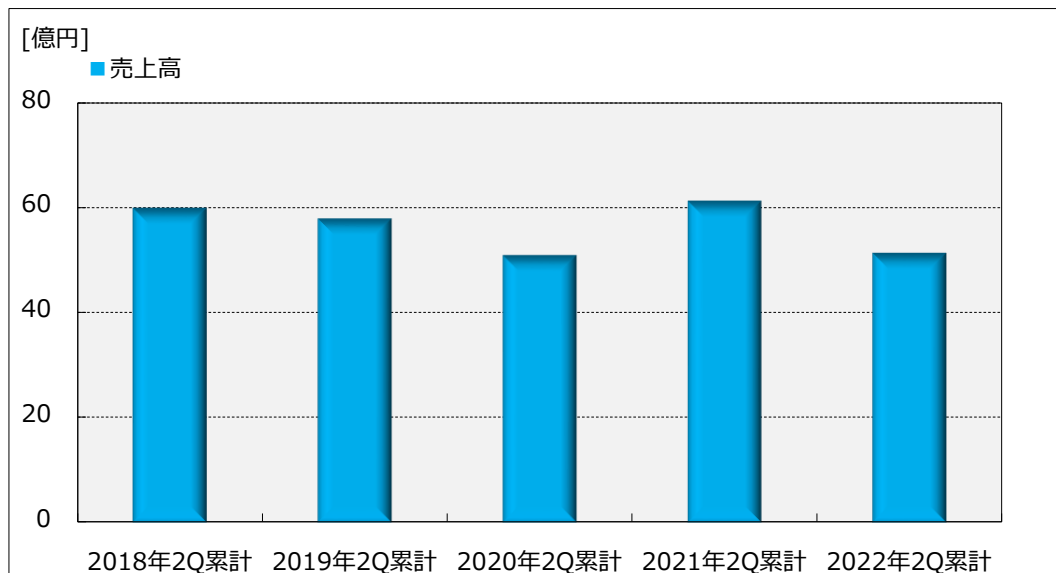
《セグメントの業績》

(単位：百万円)

セグメント	実績	前年 同四半期比	増減要因
巻線機事業	売上高	2,452	35.8%減
	セグメント利益	355	23.3%減
送風機・住設 関連事業	売上高	2,670	16.3%増
	セグメント利益	116	258.8%増

- 予定していた大型案件の売上が第3四半期以降にずれ込んだ
- 従来製品や利益率の高い予備品等売り上げるなど利益の確保に努めた
- 半導体や工作機械、産業機械向けを中心とする軸流ファンが引き続き好調を維持
- 全館空調システムを含む住宅換気装置については、ほぼ横ばいで推移
- 浴室照明器具はリフォーム市場の活発化と在宅ワークによる郊外戸建て住宅市場が堅調となり、集合住宅市場の不調をカバーしたことで前年より増加

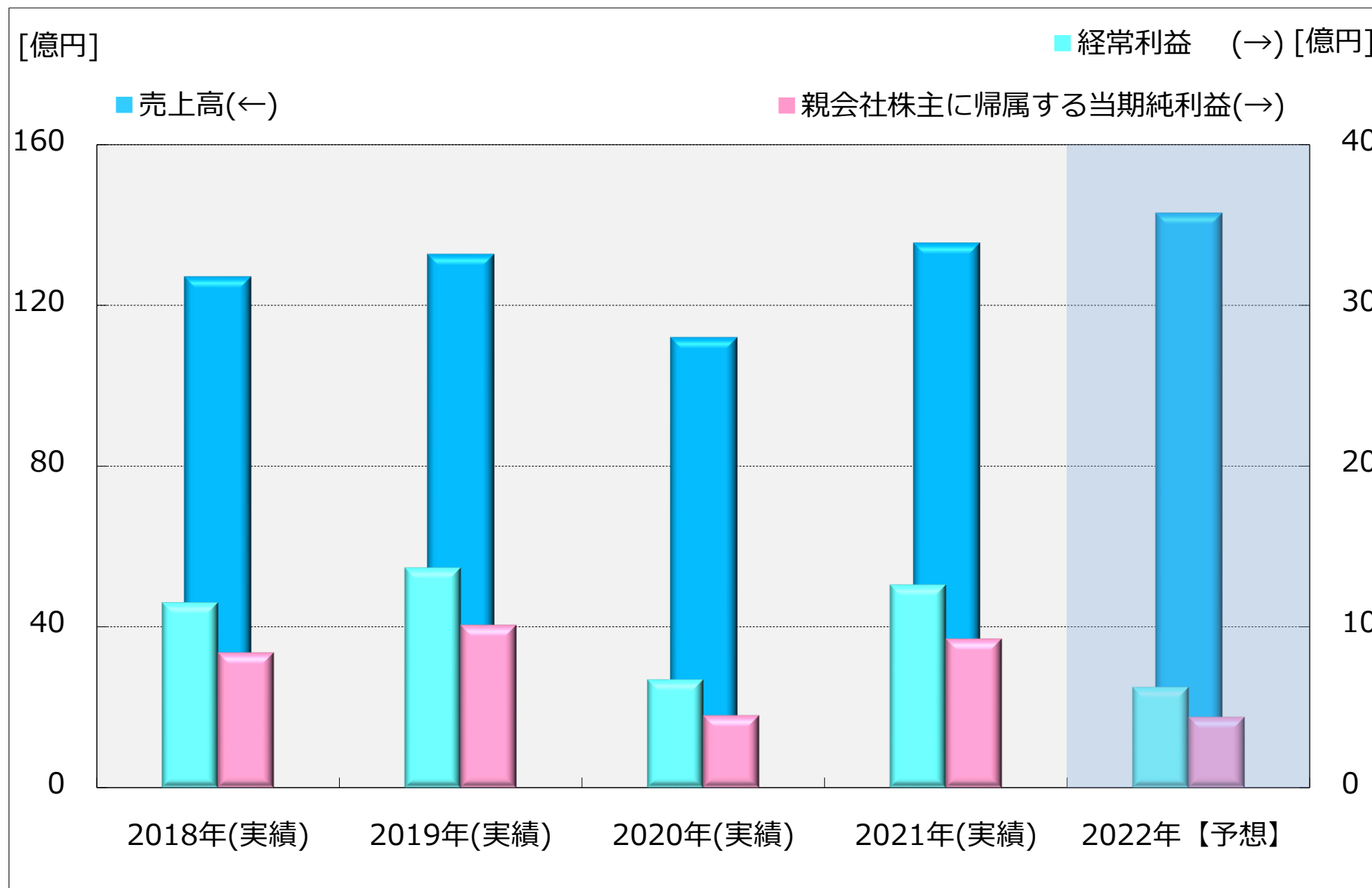
○連結業績の推移



○連結業績の推移

	2018年第2 四半期累計	2019年第2 四半期累計	2020年第2 四半期累計	2021年第2 四半期累計	2022年第2 四半期累計
売 上 高 (百万円)	5,982	5,779	5,083	6,117	5,123
経 常 利 益 (百万円)	659	440	82	413	436
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益 (百万円)	439	305	16	285	327
純 資 産 額 (百万円)	11,739	12,255	12,775	13,466	13,785
総 資 産 額 (百万円)	15,612	18,152	21,496	24,046	25,224
1株当たり四半期純利益 (円)	75.13	52.14	2.74	48.42	57.68
売 上 高 経 常 利 益 率 (%)	11.0	7.6	1.6	6.8	8.5

○連結業績予想



○連結業績予想について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものでありますが、今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実際の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

⑦ 株式会社 小田原エンジニアリング